

事故収束・廃止措置等の安全確認に係る県の取組状況(平成23年度)

		平成23年度							
		第1四半期	第2四半期		第3四半期		第4四半期		
		第1回	第2回	第3回	第4回		第5回	第6回	
現地調査 福島第一 原子力 発電所	回数	第1回	第2回	第3回	第4回		第5回	第6回	
	調査日	H23.6.18	H23.8.1	H23.9.22	H23.10.12		H24.2.14	H24.3.1	
	目的	<p>○「事故の収束に向けた道筋」ステップ1(2ヵ月目)の進捗状況(処理水一時貯蔵タンク等)を確認した。</p> <p>○今後の課題として、汚染水の浄化汚泥の処理、雨水流入による汚染水の低減対策、高線量瓦礫の撤去と処理について、早急な対策実施を求めた。</p>	<p>○ステップ1の達成状況、ステップ2の進捗状況(4号機燃料プール循環冷却装置等)を確認した。</p> <p>○地下水の流入により建屋内滞留水が増加しており、対策の着実な実施を求めた。</p>	<p>○ステップ2の進捗状況(1号機建屋カバー、ガレキ撤去状況等)を確認した。</p> <p>○ガレキや廃棄物の保管場所は発電所敷地も限られることから、中長期な課題としての検討を求めた。</p>	<p>○ステップ2の進捗状況(免震重要棟における集中遠隔監視システム等)を確認した。</p> <p>○炉注水設備損壊を想定した復旧訓練の状況を確認した。要員移動のルート確保、夜間における操作習熟等の課題への対応を求めた。</p>		<p>○凍結や接合部の緩みにより、放射性物質を含む水の漏えいが多数生じたことから、再発防止対策の実施状況(保温材による凍結防止等)を確認した。</p> <p>○2号機原子炉底部温度が故障により上昇したことから、温度監視の現状を確認した。</p>	<p>○4号機原子炉建屋上部のガレキ撤去が進んだことから、損傷した建屋の健全性確認の取組状況、4号機使用済燃料プール及び共用プールの状況を確認した。</p>	
現地調査 福島第二 原子力 発電所	回数		第1回				第2回		
	調査日		H23.8.10				H24.2.8		
	目的		<p>○津波による浸水の被害と震災後の対応状況を確認した。</p> <p>○冷温停止を維持するための設備の復旧状況、地震や津波に対する緊急安全対策の実施状況が確認できた。</p>				<p>○復旧計画(1月31日)の進捗状況と1号機の高経年化対策の取組状況を確認した。</p> <p>○緊急安全対策(南側海岸の防潮堤等)の完了状況を確認した。</p>		
国、 東京電力 に対する 申し入れ	発生事象			台風通過による災害予防	説明不足が県民に不安を与えた	情報提供の遅れ	放射性物質を含む水の海域への流出	配管の凍結による漏えい	原子炉底部の温度上昇(温度計故障)
	実施日			H23.9.21	H23.11.2	H23.11.4	H23.12.8	H24.1.31	H24.2.12
	内容			<p>○台風15号の本県通過に関し、福島第一原子力発電所の台風対策の徹底について、国と東京電力へ申し入れ。</p>	<p>○福島第一・2号機からキセノンが検出され、「臨界」報道されていることに関し、速やかな情報の開示、県民の不安解消のための情報提供について、国と東京電力へ申し入れ。</p>	<p>○キセノン検出に関し、県に情報提供した前日には既に事実を把握していたことが明らかとなったことから、速やかな情報の開示、県民への分かりやすい情報提供について、東京電力へ厳重抗議した。</p>	<p>○設備トラブルによる汚染水処理水の海域流出に関し、周辺環境への影響評価、再発防止対策等について、東京電力へ申し入れ。</p>	<p>○福島第一の配管の凍結が主たる原因とみられる漏えいに関して、類似箇所の点検の強化、抜本的な凍結による漏えい防止対策の早期実施について、東京電力へ申し入れ。</p>	<p>○福島第一・2号機の原子炉底部の温度上昇(温度計故障)に関し、速やかな対策の実施、今後のリスクを含めた県民への情報提供について、東京電力へ申し入れ。</p>
会議開催	会議名				原子力発電所労働者安全衛生対策連絡会議	原子力事故対応関係市町村会議			
	開催日				H23.9.14	H23.11.29			
	目的				<p>○緊急作業の従事者の被ばく管理等について、東京電力から報告を受け、国(福島労働局、富岡労基署、保安院)、立地町等との情報交換を実施した。</p> <p>○作業者の被ばく管理、労働安全衛生の確保に万全を期すよう、国と東京電力へ要請した。</p>	<p>○避難等の指示対象となった13市町村との情報共有を目的として、ステップ2の進捗状況や今後の安全確保対策に関して、保安院と東電から説明を受け、質疑等を実施した。</p>			

事故収束・廃止措置等の安全確認に係る県の取組状況(平成24年度)

		平成24年度						
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		
現地調査 福島第一 原子力発電所	回数	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	
	調査日	H24.5.21	H24.6.14	H24.7.18	H24.8.9	H24.8.28	H24.11.6	
	目的	<p>○4号機使用済燃料プール冷却設備の停止など、仮設備でのトラブルが繰り返されたことから、4月13日に安全管理の徹底を申し入れ、5月18日に改善対策報告書が提出されたことから、その取組状況を確認した。(窒素ガス分離装置、4号機使用済燃料プール循環冷却システム等)</p>	<p>○東京電力が5月に実施した4号機原子炉建屋の健全性確認状況を確認した。 ○屋外に晒されるコンクリート鉄筋等の腐食劣化への対策と、使用済燃料プールの冷却機能喪失事故を想定した外部影響について検討するよう求めた。</p>	<p>○4号機使用済燃料プールからの未照射燃料の取り出し状況を確認した。 ○取り出した燃料の詳細点検の結果を、今後計画されている本格搬出作業の安全に確実に反映させるよう求めた。</p>	<p>○中長期ロードマップの進捗状況と、仮設備の信頼性向上対策の進捗状況、共用プールでの燃料の保管状況を確認した。 ○作業の進捗状況については、以前の状況と写真で対比するなどにより、県民の目に見える形として、より積極的に情報提供することを求めた。</p>	<p>○4号機使用済燃料プールから取出した未照射燃料の健全性確認作業の状況(目視による外観の腐食調査(1体目))を確認した。</p>	<p>○乾式キャスク一時保管施設及び多核種除去設備(ALPS)におけるホット試験前における安全対策実施状況を確認した。 ○1号機原子炉格納容器内調査状況及び2号機原子炉圧力容器の代替温度計設置状況について確認するため、5号機の類似箇所を確認した。</p>	
現地調査 福島第二 原子力発電所	回数				第3回		第4回	
	調査日				H24.8.9		H24.10.17	
	目的				<p>○復旧計画の進捗状況(4号機での冷温停止の安定維持に必要な本設備への復旧作業の完了)を確認した。 ○4号機で9月に予定されている原子炉開放、燃料移動、炉内点検の計画について確認した。</p>		<p>○復旧計画の進捗状況(3号機での冷温停止の安定維持に必要な本設備への復旧作業の完了)を確認した。 ○4号機で実施していた原子炉から使用済燃料プールへの燃料取り出し作業の実施状況等を確認した。</p>	
国、東電に 対する 申し入れ	発生事象	仮設備での類似トラブル多発			1~3号機 原子炉注水量低下		作業従事者登録数の 記載に係る嚴重抗議	
	実施日	H24.4.13			H24.8.31		H24.11.6	
	内容	<p>○仮設備における類似トラブルの頻発に関し、①詳細点検と安全評価の実施、②早期発見と復旧対応等の安全管理の強化、③速やかな情報開示・分かりやすい情報提供について、東京電力へ申し入れ。併せて事業者指導の強化を国へ依頼。 ※5月18日に改善報告書を受理</p>			<p>○福島第一・1~3号機の原子炉注水量の低下事象に関し、パラメータ監視の強化と速やかな報告、早急な原因究明と冷温停止状態の安定的維持について、東京電力へ申し入れ。</p>		<p>○廃止措置等に向けた中長期ロードマップにおける「作業従事者登録数」の記載について、事実と異なる記載がなされたことに関して、資源エネルギー庁と東京電力に嚴重抗議を行い、事実関係を調査し速やかに回答するよう求めた。 ※11月16日に記載に関する調査結果報告書を受理</p>	
会議開催	会議名	県・立地町合同の専門家を 交えた説明聴取会		県・立地町合同の 説明聴取会	原子力発電所労働者 安全衛生対策連絡会議	福島第一廃止措置等の 安全確認に係る有識者懇談会	県・立地町合同の 説明聴取会	原子力事故対応 関係市町村会議
	開催日	H24.6.28		H24.8.8	H24.9.7	H24.9.18	H24.10.5	H24.10.29
	目的	<p>○「使用済燃料を仮保管する乾式キャスク仮保管設備」及び「4号機原子炉建屋の外壁の局所的な膨らみを考慮した耐震安全性」について、県と立地町の合同で専門家を交えて、東京電力から安全性に関する取り組みについて説明を聴取した。</p>		<p>○「瓦礫等の保管場所の増設」、「多核種除去装置(ALPS)の設備概要及び現地工事」及び「雑個体廃棄物焼却設備の設置」について、県と立地町の合同で、東京電力から安全性に関する取り組みについて説明を聴取した。</p>	<p>○作業員の被ばく管理状況や災害発生状況、APDの不正使用に対する再発防止対策等の取組について、東京電力と国(福島労働局、富岡労基署、保安院、エネ庁)、立地町等との情報交換を実施した。 ○作業者の安全管理の徹底、人材の安定的な確保について、国と東京電力へ要請した。</p>	<p>○廃止措置等に向けた中長期ロードマップに基づく国と東京電力の取組に関して、立地自治体における今後の安全確保の取組のあり方について、幅広い視野から検討を深めるため、事故前と事故後を通じて原子力発電所に関わってこられた有識者から意見を伺い、県と有識者を交えた懇談会を開催した。</p>	<p>○「雑個体廃棄物焼却設備の設置」及び「敷地南側エリアの至近のタンク計画」について、県と立地町の合同で、東京電力から安全性に関する取り組みについて説明を聴取した。</p>	<p>○原子力規制委員会が示した「措置すべき事項(案)」について、及び、中長期ロードマップにおける国の役割分担、使用済燃料プールを含めた原子炉建屋の健全性について、規制庁及びエネ庁、東京電力から説明を受け、質疑を行った。</p>
	会議名			第1回通報連絡担当者会議	第2回通報連絡担当者会議	第3回通報連絡担当者会議 (福島第二発電所視察)	第4回通報連絡担当者会議	第5回通報連絡担当者会議
	開催日			H24.7.10	H24.9.3	H24.9.19	H24.10.5	H24.11.6
目的			<p>○通報連絡事項の見直し及び通報連絡の周辺9市町村への拡大について、立地4町及び周辺9市町村の担当者との意見交換を行いました。</p>	<p>○原子力発電所に関する通報連絡の見直し(7月25日)後の運用状況、見直しにより追加または変更となった新たな連絡事項について、東京電力から説明を受け、意見交換を行った。</p>	<p>○通報連絡協定を新たに締結した市町村を交えて、県と13市町村は、福島第二原子力発電所を視察し、復旧状況と復旧計画の概要について説明を受けました。</p>	<p>○新たな連絡事項及びJヴィレッジに一時保管中の使用済み保護衣等の福島第一原子力発電所への運搬について、東京電力より説明を受け、意見交換を行った。</p>	<p>○新たな連絡事項及び放射性廃棄物の放出及び保管状況並びに線量管理状況等の報告について、東京電力より説明を受け、意見交換を行った。</p>	

